

帯広－JICA 協力隊連携事業第 2 フェーズ第 2 期長期派遣要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国
2. 職種・人数：家畜飼育 4 名（うち 1 名は調整役業務を含む）
3. 今回の募集：家畜飼育 2 名（うち 1 名は調整役業務を含む）

4. 配属先概要

- 1) 受入省庁：社会・経済開発企画庁
- 2) 配属先：イタプア県庁
カルメン・デル・パラナ市
- 3) 任地：エンカルナシオン市
カルメン・デル・パラナ市

4) イタプア県概要：

イタプア県は国内第 3 の都市エンカルナシオン市を県庁所在地とする。小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30 市町村から構成され、県庁は農業分野を担う農業生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多く、これまで様々なセクターで JICA の技術協力が実施されている。

5. 要請概要

1) 要請理由

2012 年 7 月から 2018 年 3 月まで、JICA と帯広畜産大学は協働で「イタプア県小規模酪農家強化プロジェクト（FOPROLEI）」を実施してきた。この事業では、2 職種 4 名の長期ボランティアを県庁、コロネル・ボガード市、ヘネラル・アルティーガス市、サンペドロ・デ・パラナ市に派遣し、家畜飼養管理技術、健康・衛生管理技術等の向上を目的としてプロジェクトを進めると共に、半年ごとに短期学生ボランティアを派遣し、プロジェクトの進捗状況をモニタリング調査してきた。2018 年 3 月に行われた最終評価報告会では、各市において、乳質向上、繁殖効率向上、サイレージ製造の普及など酪農技術の改善が図られ、特に、コロネル・ボガード市では酪農家が生乳を集乳所に集荷し、まとめて乳業会社に販売するというプロジェクト目標を達成できたことが報告された。これらの成果に加え、同国では酪農分野の発展、特に安定的で質の高い牛乳生産に取り組んでいることから、イタプア県から第 2 フェーズの要請がなされた。

この要請に基づき、青年海外協力隊事務局、JICA パラグアイ事務所、帯広畜産大学

間で協議を行い、同県にて第 2 フェーズを行うこととし、フラム市、サンファン・デル・パラナ市、カルメン・デル・パラナ市の 3 市を対象とすることとし、2018 年 7 月から派遣を開始した。

今回の要請は、イタプア県庁、カルメン・デル・パラナ市の 2 代目長期ボランティアとして、初代長期ボランティアがカウンターパートとともに現在作成中であるロードマップをもとに活動を行い、他の 2 市（フラム市およびサンファン・デル・パラナ市）の長期ボランティアとともに連携しながら、この地域の酪農発展の支援を行う。

2) 予定されている活動内容

牛乳の生産性向上や品質改善による経営向上に向けて、カウンターパートとともに下記の業務を行う。

1. プロジェクトのロードマップの実施、修正
2. 搾乳場所や方法など家畜衛生の改善
3. 牧草栽培、サイレージ調製など全般的な家畜飼料給与改善
4. 繁殖記録、人工授精など繁殖管理改善
5. 酪農組合の組織強化
6. 他市に派遣されたボランティアと連携し、問題や情報の共有
7. 春、夏に派遣される短期ボランティアと連携しての活動

3) 配属先スタッフ・同僚等

各市ともにカウンターパートとして 1 名配置予定
小規模酪農家組合員（複数名）

4) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）・グアラニー語

5) 選考指定言語：英語

※学内選考時は、TOEIC 等のスコアは不所持でも問題ないが、JICA 選考時に必要になるので、JICA ボランティア応募時まで各自受験しておくこと。

6. 資格条件

- 1) 学歴：本学卒業生、卒業見込者(2022 年 3 月)、本学大学院生
- 2) 免許：小型自動二輪免許取得が必要。

※自己負担での取得。

7. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：0～40℃

- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可
- 5) 水道：安定

8. 新型コロナウイルス感染症の影響

世界各国における感染症拡大を受け、2020年4月より活動中止を余儀なくされている。2021年3月現在、パラグアイへのボランティア派遣は再開したものの、本プロジェクトの活動地域への派遣・活動再開の目途は立っていない。一方で、JICAは長期ボランティアの募集再開を決定し、本学でも検討した結果、事業継続の観点から2022年度の派遣に向けて長期ボランティアの募集を行うこととした。新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、選考中止や派遣決定後に派遣期間を遅らせる可能性がある。

9. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。イタプア県庁に配属の隊員は、業務内容が異なる場合がある。隊員の意向を確認したうえで、プロジェクト担当教員が適性を判断し、決定する。

以上